

一般質問(要旨)



豊田 茂 議員  
 所属 無所属  
 選挙区 高萩市・北茨城市選出  
 連絡先 一括方式

新型コロナウイルス感染症による  
 風評被害対策

議員 医療機関の風評被害、医療従事者やコロナ感染者に対する差別解消にどのように取り組むのか  
**知事** 県では不当な偏見・差別の撤廃のため、HPなどでの正確な情報の発信などに取り組んできた。さらに今定例会では、差別解消の措置を盛り込んだ条例を提出した。今後は、医療機関の感染症対策などを県民へ周知するほか、人権尊重の啓発動画やSNSメッセージの発信などにより、風評被害や偏見・差別の解消に努めていく。

グランピング※1の積極的な推進

議員 キャンプ場数日本一を誇る本県の強みを生かしたグランピング推進について今後の取り組みは  
**営業戦略部長** グランピングはウィズコロナ時代の観光振興に極めて効果的である。国内最大手の予約サイトと連携し、九月に県独自のキャンプ場ポータルサイトを開設した。今後も広報やグランピング施設の創出支援などに取り組む。  
 (ほかに、データの情報共有、消防団への研修なども質問)



「キャンプと言えば茨城」というイメージの定着を(高萩市の「菰ビレッジ」)



石井 邦一 議員  
 所属 いばらき自民党  
 選挙区 常陸太田市・大子町選出  
 連絡先 一括方式

公共事業費の確保

議員 公共事業投資は、経済対策や利便性向上のほか、災害の復旧復興など地域の安心安全な暮らしを築く意義もある。公共事業費の予算確保にどう臨んでいくのか。  
**知事** コロナ禍により財政状況が厳しい中、大規模災害からの復旧・復興や防災・減災事業のほか、本県の経済・観光振興に資する事業を計画的かつ戦略的に推進していく。選択と集中の考えを徹底し、国の補助制度なども活用して安定的な予算確保に努めていく。

観光産業への支援

議員 感染防止啓発や需要の喚起など、新しい生活様式に対応する観光産業支援をどう進めるのか。  
**知事** 夏季に事業者へ「いばらきアマビエちゃん」登録を義務付けた「いばらき応援割」を実施した。さらに、大規模イベントとして、AR技術を活用したサイクルイベントの開催や、旅行者への感染防止啓発などの支援を進めていく。  
 (ほかに、県総合計画の在り方、県北振興策の展開なども質問)



りんりんロードスタンプラリーイベントの様子

今定例会で可決された議案

- 議員等提出
- ◆条例の制定
    - 茨城県議会委員会条例の一部を改正する条例
  - ◆その他
    - 県有財産の取得について
    - 県有財産の売却処分について(伊奈・谷和原丘陵部地区戸建住宅等用地)
- 知事提出
- ◆令和二年度補正予算関係
    - 一般会計補正予算
  - ◆条例の制定及び一部改正
    - 茨城県新型コロナウイルス感染症の発生予防又はまん延の防止と社会経済活動との両立を図るための措置を定める条例
  - ◆人事
    - 教育委員会委員の任命について
- 意見書
- 小規模事業者に対する支援及び支援体制の拡充・強化に関する意見書
- 請願
- 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願
- ※意見書・請願の全文は議会ホームページでご覧になれます。

「茨城大学との相互連携・協力に関する包括協定」締結式および記念講演会を開催しました

茨城県議会と国立大学法人茨城大学は、九月二十四日、県議会議事堂において、相互連携・協力に関する包括協定を締結しました。

今回の協定は、相互の密接な連携と協力により、地域の課題に迅速かつ適切に対応するとともに、活力と魅力にあふれる地域づくりや、本県の将来を担う人材の育成に資することを目的としています。

今後は、大学から議会への有識者派遣や、議員による大学での講義、議員と学生との意見交換会の開催など、両者の連携を一層推進してまいります。

また、締結式終了後、協定の締結を記念して、茨城大学の太田寛行学長から、「SDGsと新しい茨城・産官学で共創する近未来」とのテーマで、ご講演をいただきました。太田学長からは、茨城大学におけるサステイナビリティ学※4の研究・教育の取り組みや、SDGsの各目標に対する茨城県の課題、そして、その課題解決には産官学の連携が必要であるとお話がありました。



協定を締結した森田悦男議長(左から7人目)と太田寛行学長(右から7人目)



太田寛行学長による講演の様子

大変有意義な講演会となりました。